

# ダイヤル119



2013年(平成25年)9月1日  
**No.55**

ドクターヘリ/応援出動について/災害対応時間の短縮……………2

住宅用火災警報器設置義務化/救急フェア/熱中症について……………3

消防協力者表彰/消防救助技術大会/応急手当普及員講習/庁舎耐震改修工事……………4

## 9月1日、防災の日! 災害発生時の心得



**むやみに移動を開始せず、落ち着いた行動を**

職場や学校、外出先など、自宅から離れた場所にいるときに、大規模な災害が発生すると、公共交通機関が運行を停止し、自宅へ帰ることが困難になることが予想されます。

平成23年3月に発生した東日本大震災では、内閣府の推計で千葉県内において約52万人の帰宅困難者が発生したとされ、県内の一部の駅周辺では混乱も生じました。

**むやみに移動を開始しない**  
地震等が発生した直後、

### 災害時帰宅支援ステーションステッカー



○コンビニエンスストア等



○千葉県石油商業組合に加盟する県内のガソリンスタンド

多くの人が一斉に徒歩帰宅を始めた場合、路上や鉄道駅周辺では大混雑が発生し、集団転倒にまき込まれたり、火災や沿道の建物からの落下物等により負傷する恐れがあります。

まず身の安全を確保するとともに、安全な場所にとどまり、落ち着いた行動で交通情報や被害情報等を確認し、適切な行動を心がけましょう。

- まずは自身の身の安全を確保しましょう。
- 慌てて移動を開始するのはやめましょう。
- 家族の安否や自宅の無事を確かめましょう。
- 交通機関の情報や道路の被害状況などを入手しましょう。
- 周囲の状況に応じて、安全を最優先に行動しましょう。

※発災直後の安否確認の手段として、災害用伝言ダイヤル171(一般電話)、災害用伝言板(携帯電話・スマートフォン)、web171(パソコン)などが利用できます。

**安全な徒歩帰宅のために**  
外出先で帰宅困難となった場合を想定し、日ごろから徒歩帰宅や一時的な避難に備えて必要な物資等を準備しておくことも大切です。

○携帯ラジオや地図を持ち歩きましょう。

○職場などに歩きやすいスニーカーや懐中電灯、手袋、飲料水や食糧などを用意しておきましょう。

○事前に発災時の安否確認の方法や集合場所を家族で話し合っておきましょう。

○徒歩やバスにより帰宅経路の状況を確認しておきましょう。

○コンビニエンスストアやガソリンスタンドなどを確認しておきましょう。

**徒歩帰宅者支援の取り組み**  
千葉県を含む九都府県では、コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ガソリンスタンド等と徒歩帰宅支援に関する協定を締結しています。

これらの店舗では、水道水やトイレの提供のほか、道路交通情報などを可能な範囲で提供して頂けます。

こうした店舗には、「災害時帰宅支援ステーションステッカー」が掲示されています。

千葉県石油商業組合に加盟する県内のガソリンスタンド

SSでひと安心  
災害時に役立つサービス  
◆一時休憩所として利用  
◆情報提供  
◆飲料水を提供  
◆トイレの提供

災害時ガソリンスタンドは徒歩帰宅者を支援します。

**災害情報を電子メールで配信中**  
**登録が必要です!**

消防組合では火災などの災害情報を、電子メールで配信しています。

**【配信情報】**  
佐倉市・八街市・酒々井町で発生した火災・救助・救急支援など、消防車が出動する災害。

**【登録方法】**  
① <https://fire.mail-dpt.jp/sakura> にアクセスしてメールアドレスを登録する。または、[sakurafire@entry-f.mail-dpt.jp](mailto:sakurafire@entry-f.mail-dpt.jp) に空メールを送信する。

**安否情報まよめに検索「J-anpi」**

このサービスは、平成24年10月1日にNTTとNHKが中心となって始まったサービスです。安否情報の登録はできず、検索のみのサービスですが、各社の情報を一括で検索できるメリットがあります。

「電話番号」または「氏名」を入力することで、各通信会社が提供する災害用伝言版、各企業・団体が提供する安否情報(テキスト情報)を一括で検索し、結果をまとめて確認することができます。

② 仮登録メールが届いたら、記載されているURLにアクセスする。

③ 情報が必要な地域(※)を選択して本登録をする。

※地域は、佐倉市・八街市・酒々井町の各全域の情報のほか、住居表示単位でも選択することができます。

※本登録は、仮登録メールアドレスから

●迷惑メール対策をされている方は、事前に [sakurafire@info.mail-dpt.jp](mailto:sakurafire@info.mail-dpt.jp) からのメールを受信できるように設定してください。

●登録料・情報料はかかりませんが、登録画面へのアクセスやメール受信にかかる通信料は利用者負担となります。

●災害情報は、夜間(深夜)にも配信されます。

\* \* \*

■問い合わせ先  
消防本部指揮指令課  
043(481)0119



[J-anpiの検索ページ]  
<http://anpi.jp/>

なお、安否情報の検索は、パソコン、インターネット接続に対応した携帯電話、スマートフォンで可能です。

# ドクターヘリ 離着陸にご理解を!

千葉県では現在、日本医科大学千葉北総病院と君津中央病院を基地として、2機のドクターヘリが運航されています。

ドクターヘリとは、救急専用の医療機器等を装備し、医師及び看護師が同乗するもので、消防機関等の要請により出動し、臨時離着陸場において、救急隊と連携して生命の危機が切迫している重症患者に速やかな救命処置を行うことのできるヘリコプターを言います。

消防組合管内では、平成22年中には143件、平成23年中には177件、平成24年中には209件



の要請に対してドクターヘリが出動しています。

管内のドクターヘリ臨時離着陸場は、佐倉市内で48箇所、八街市内で19箇所、酒々井町内で7箇所が指定されています。主に小・中学校のグラウンドや公共の広場等を利用してはいますが、ドクターヘリが離着陸する際に発生するダウンウォッシュ(ローターが起す吹き降ろし気流)による砂ぼこり等が発生し、ご迷惑をおかけする事案が発生しています。

消防組合では砂ぼこり等の発生を最小限に防止するため、消防隊により散水作業を実施するとともに、広報活動を行うとしています。

臨時離着陸場は、救急出動現場から最も近い場所ではなく、安全確保に当たる消防隊がいち早く臨時離着陸場に到着できる場所を選んで決定しています。今後市民の皆様のご理解をお願いします。

## 災害対応時間の短縮 酒々井インターチェンジ(IC)開通

これまで、佐倉ICと四街道IC間、富里ICと成田IC間が約5.4kmなのに対して、佐倉ICと富里IC間は約9.5kmあり、この間で災害が発生した場合、場所によって他区間より現場到着に時間を要していました。平成25年4月10日、酒々井ICが開通したことに伴い、現場到着時間の短縮が期待されます。

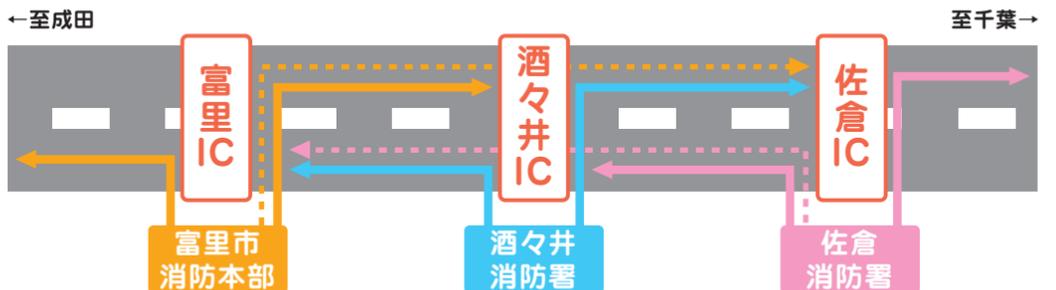


酒々井ICは、佐倉ICから約7.0km、富里ICまで2.5kmの地点にあり、KP(キロポスト)



▲酒々井インターチェンジ

により区分けしている出動管轄エリアも、これまで富里市消防本部の管轄エリアであった「上り」富里ICと佐倉ICの一部区間(酒々井ICと佐倉IC)が当消防組合の管轄となります。高速道路で交通事故等が発生すると、緊急走行にも危険が伴います。消防組合では、安全第一を心掛けていますが、皆様のご理解とご協力をお願いします。



点線...開通前 実線...開通後

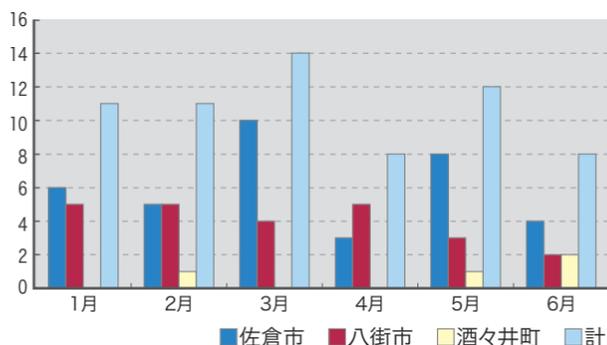
### ●応援出動について●

平成25年4月1日から、「ちば消防共同指令センター」の本格運用が開始され、現在、佐倉市・八街市・酒々井町を含む千葉県の北東部・南部の20消防本部管轄地域からの119番通報はすべて「ちば消防共同指令センター」で受け付けています。このことにより、各消防本部の連携及び情報の共有が可能となり、隣接消防本部の出動状況

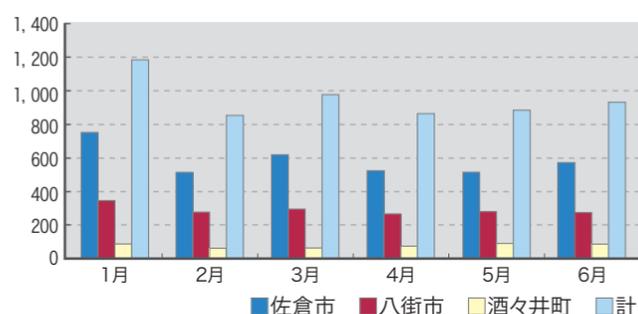
等について速やかに情報が入り、応援体制がさらに強化されました。当消防組合管内には11台の救急車が待機していますが、救急出動が重なり救急車が全て出動した場合等には、出動可能な隣接消防本部の救急車が応援出動して来ることがあります。また、災害が多発し全ての消防車が出動した場合も同様です。各消防本部では、応

援出動の要請があれば、隣接消防本部の管轄地域へもできる限り早く現場到着できるように準備をしていますが、現場に最も近い消防署からの出動と違い到着までに時間を要する場合があります。救急出場件数は年々増加しています。救急車の適正利用に引き続きご理解・ご協力をお願いします。

### 火災発生状況



### 救急出場状況



火災発生件数は64件で、前年と比較して8件増加しています。火災種別ごとの火災発生件数は、建物火災が29件、林野火災が4件、車両火災が7件、その他火災が24件です。建物火災の出火原因別では「放火(放火の疑いを含む)」により発生した火災が最も多く10件、次いで「コンロ」が5件、「その他の原因による火災」が11件、「不明・調査中」が3件となっています。

救急出場件数は5,707件で、前年と比較して340件の増加であり、構成市町別にみると佐倉市が3,502件で163件の増加、八街市が1,743件で123件の増加、酒々井町が462件で54件の増加です。



## 平成25年前期の災害発生状況

(1月～6月末日)

事故種別では「急病」が最も多く3,645件、次いで「一般負傷」746件、「交通事故」が560件です。

救助出動件数は、77件で前年と比較して47件の増加であり、構成市町別にみると佐倉市が41件、八街市が29件、酒々井町が7件です。

※救助出動件数の増加は、119番通報の受付が「ちば消防共同指令センター」へ移行したことに伴う、指令判断基準の変更によるものです。



QRコード

# 住宅用火災警報器の設置が義務化されています



「自分の家は火事にならない」と思っていないか?しかし火災は起きています。近年、建物火災における死者の約9割は住宅で発生しています。その原因として「逃げ遅れ」の割合が約6割と非常に高くなっており、また、死者の約6割が65歳以上の高齢者で、発生するのは主に就寝時間帯です。今後、高齢化の進展に伴い、さらなる増加が懸念されます。

このような状況から、火災発生を早く知り、逃げ遅れによる死者が無くなるように消防法が改正され、住宅用火災警報器の設置義務化については、平成23年6月に全国すべての住宅が対象となっていました。現在設置されていない方は、速やかに設置するようお願いいたします。

なお、マンション等の共同住宅で自動火災報知設備を設置してある場合は必要ありません。

## 住宅用火災警報器 お手柄事例 (総務省消防庁資料)

【就寝中の居住者が警報音で目覚め、避難できた主な事例】

ベッド脇の床面に火のついた蚊取り線香を置いて就寝中、寝返りをうった際に布団が落下、蚊取り線香に接触したため出火し、住宅用火災警報器の警報音で目が覚め、布団を台所の流しに持って行き、水道水で消火した  
(神奈川県)

てんぷら油が入った鍋を加熱したまま隣室でうたた寝をしてしまったため出火し、住宅用火災警報器の警報音で目を覚まし、濡れたタオルと消火器で消火した。  
(東京都)

居住者が就寝中、たばこの不始末で併用住宅の事務所部分から出火し、階段室に設置していた住宅用火災警報器の警報音で目を覚まし、19番通報を行い消火した。焼損は事務所内部のみで済んだ。  
(栃木県)

## 「救急フェア開催」

9月9日は救急の日です。そして、この日を含む1週間(9月8日(日)から9月14日(土)まで)は、救急医療及び救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深め、かつ救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的として、救急医療週間とされています。

消防組合では救急の日及び救急医療週間の広報活動として次のとおり「救急フェア」を開催します。皆様の参加をお待ちしています。

【日時】平成25年9月7日(土) 11時00分～13時00分

【場所】酒々井プレミアム・アウトレット

【内容】①応急手当の実技指導(心肺蘇生法)  
②キャラクターによる広報活動

※千葉県PRマスケットキヤラクター「チーバくん」、酒々井町マスケットキヤラクター「井戸っこ(しすいちゃん)」が登場します。

③救急車両展示と写真撮影  
④模擬電話による119番通報訓練  
⑤広報用物品の配布

※雨天の場合、内容を変更して開催します。

■問い合わせ先  
消防本部警防課救急救助係  
☎043(481)1248



## 熱中症にご用心!

季節も秋に近づいてきましたが、気温の高い日が続いており、熱中症にはまだまだ注意が必要です。

### 熱中症とは

高温多湿の環境のもとで体内の水分、塩分のバランスが崩れたり、体温を調節する機能が働かなくなるなどして起こる障害で、左図のような症状が出現し、I度、II度、III度と進行していきます。

### 熱中症を疑ったら

涼しい環境(日陰やクーラーの効いた部屋等)へ避難し、衣服を脱がして皮膚を濡らし、うちわで仰いだり、扇風機の風を当て体温を下げましょう。氷嚢があれば首、わきの下、太ももの付け根などに当てて冷却

<b>I度</b>	●めまい ●失神 ●筋肉痛 ●筋肉の硬直 ●大量の発汗
<b>II度</b>	●気分不快 ●倦怠感 ●頭痛 ●嘔吐 ●虚脱
<b>III度</b>	●意識障害 ●高体温 ●けいれん

救急車が必要なとき

- I度の症状があり、冷却、水分補給を行っても改善しないとき
- II度の症状があり自分で水分補給ができないとき
- III度の症状があるとき



## 水防訓練に参加!

平成25年6月9日に高崎川南街区公園一帯を会場とし、平成25年度佐倉市水防訓練が実施され佐倉消防署救助隊が参加しました。

この水防訓練とは、集中豪雨や台風など風水害の発生が懸念される時期に、地域の自主防災組織や関係機関などが連携して訓練を実施し、風水害

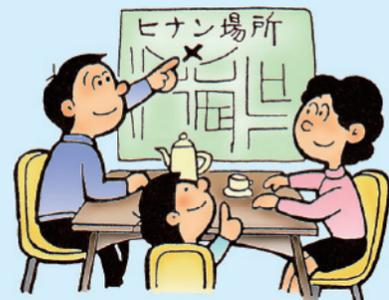


による被害の防止、軽減を図るために毎年実施されているものです。

当日は、高崎川で遊覧していた屋形船が転覆し、十

数名が船から投げ出されたとの想定で訓練が実施され、ボート隊及び潜水隊による要救助者の救助活動、負傷者多数のため救急隊によるトリアージなど本番さながらの訓練が実施されました。

佐倉市では、平成13年10月10日の集中豪雨によって多くの家が床上、床下浸水するという被害に見舞われました。河川改修、下水路の整備によりこういった被害は減少しているものの、近年のゲリラ豪雨など突発的な被害が発生しています。



各家庭においても、お住まいの市・町で作られている洪水ハザードマップなどを活用し避難場所や避難経路の確認など、もしもの時に備えましょう。

意識がはっきりしている場合は冷たい水(スポーツドリンク等が最適)を与え、呼びかけに反応が悪い場合、反応がない場合や吐き気を訴えている場合は口からの水分補給は控えましょう。

冷房の使用を躊躇して熱中症になるというケースが増えています。無理をせず気温が高い日は冷房を使用しましょう。

日中炎天下での運動、作業中の水分補給(塩分等を含むもの)はもちろんです、屋内での作業や普段の生活の中でもこまめに水分補給を行い熱中症の予防を心がけましょう。



佐倉市八街市酒々井町消防組合ツイッター公式アカウント  
緊急情報及びイベント等についてツイートしています。  
ぜひ、フォローをお願いします。

QRコード



平成25年6月11日、千葉県消防学校において第38回消防救助技術千葉県大会が行われました。救助活動に欠かせない体力・精神力・技術力を養う目的で、県内の消防救助隊員が集まり日ごろの訓練の成果を競う大会です。当消防組合からも

**消防救助技術  
千葉県大会  
2チーム入賞！**

29名の救助隊員が出場し、好成績をおさめることができました。



**○千葉県大会入賞者  
ロープブリッジ救出 第4位**

深山知宏・石塚誠一  
井上 強・佐藤文哉

4人1組で20mの水平に張られたロープを渡り、対面する塔に進入して救助を待つ人を救出し脱出するまでの安全確実性とタイムを競います。  
※7月24日に横浜市で開催された「第42回消防救助技術関東地区指導会」に千葉



3人1組で狭いトンネルを検索して逃げ遅れた人を救出するまでの安全確実性とタイムを競います。  
※「第42回全国消防救助技術大会」に千葉県代表として出場しました。

**ほくく救出 第1位**

間野今夫・為田 惟  
荻島規之

県代表として出場し、第2位に入賞。8月22日に広島市で開催された「第42回全国消防救助技術大会」に出場しました。

**ご協力  
ありがとうございました**

消防活動にご協力いただいた方に、消防組合から感謝状を贈りましたので、ご紹介します。



**★消防協力者表彰  
佐倉消防署長表彰**

【平成25年4月21日、佐倉市で発生した建物火災における消火協力】 ※写真左から

溝口 仁 さん  
溝口 ゆき さん  
(佐倉市城在住)

**佐倉市消防団女性部  
初の応急手当普及員  
誕生!!**

平成25年2月13日・27日、3月6日の3日間、佐倉市消防団女性部応急手当普及員講習が行われました。



受講した佐倉市消防団女性部7名は全員上級救命講習を受講済みですが、応急手当普及員は救命講習の内容に加え、解剖・生理学などの基礎医学等、さらに詳しい知識が必要です。また、



救命に必要な応急手当の指導も学びます。わかりやすい丁寧な説明、そして一人ひとりの個性を活かしたそれぞれの指導法の習得を目指し、3日間真剣に取り組みました。  
最後に効果測定（確認試験）を行い、7名全員が合格。消防組合初の応急手当普及員が誕生しました。今後は佐倉市消防団員の普通救命講習会等で消防組合応急手当指導員とともに応急手当の指導を行っていく予定です。

**「八街消防署八街南部出張所庁舎  
耐震補強工事完了のお知らせ」**



平成24年9月から行ってまいりました八街消防署八街南部出張所庁舎耐震補強工事が竣工しました。工事期間中は、ご不便、ご迷惑をおかけしました。今後、地域住民の安心・安全を第一に考え、防災拠点としての役割を十分果たしてまいります。

**平成24年度情報公開制度及び個人情報保護制度の実施状況**

**情報公開制度**

実施機関別公文書の開示請求件数と処理状況

実施機関名	請求件数	公文書件数	決定内容など				
			全部開示	部分開示	不開示 (不存など)	却下	取下げ
管理者	24	24	3	21	0	0	0
議会	0	0	0	0	0	0	0
監査委員	0	0	0	0	0	0	0
合計	24	24	3	21	0	0	0

※請求された公文書の主な内容…防火対象物、危険物施設、火災調査書類及び救急に関する文書など  
※情報公開審査委員に対する不服の申出、相談及び苦情など…なし

**個人情報保護制度**

自己情報の開示請求件数と処理状況

請求件数	公文書件数	決定内容など				
		開示	一部開示	不開示	却下	取下げ
5	5	0	5	0	0	0

※請求された公文書の主な内容…火災調査書類及び救急に関する文書など  
※情報公開審査委員に対する不服の申出、相談及び苦情など…なし  
※口頭による開示請求…1件

**消防組合議会議員が  
改選されました**  
◆酒々井町議会選出  
【就任】  
平成25年4月24日  
平澤 昭敏 氏  
越川 廣司 氏  
【退任】  
平成25年4月23日  
川島 邦彦 氏  
内海 和雄 氏  
◆佐倉市議会選出  
【就任】  
平成25年5月22日  
柏木 恵子 氏  
桐生 政広 氏  
望月 清義 氏

【退任】  
平成25年5月21日  
小須田 稔 氏  
富塚 忠雄 氏  
中村 孝治 氏  
なお、7月9日付で、議長に桐生政広氏が就任しました。  
**消防組合の監査委員が  
改選されました**  
◇議会選出  
【就任】  
平成25年7月9日  
越川 廣司 氏  
【退任】  
平成25年4月23日  
内海 和雄 氏